

1 現状と課題

【現状】

本県は全国平均と比べ30歳代の離職率が高く、M字の底の値が全国ワースト2位
 <M字カーブの底が深いことの問題点>

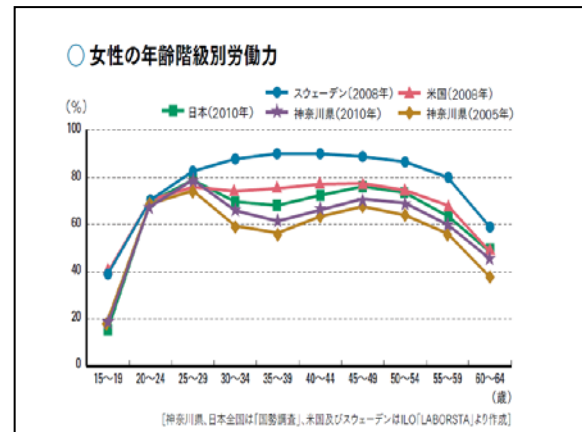
働くことを希望する女性が、就業を継続できず、キャリアを積むことが困難

<M字カーブを解消することの重要性>

出産・子育てと仕事との二者択一により、女性の知識や経験、キャリアが活かされないことは、重大な損失

【課題】

- 女性の政策・方針決定過程への参画について一層の推進
- 男女問わず仕事と家庭の両立ができる柔軟で多様な働き方、家事・育児環境の実現



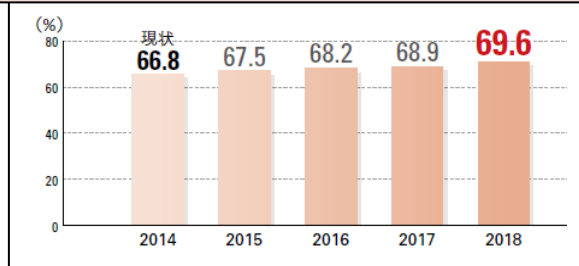
2 本県の目標

誰もが個性と能力を発揮できる社会づくりに向けて

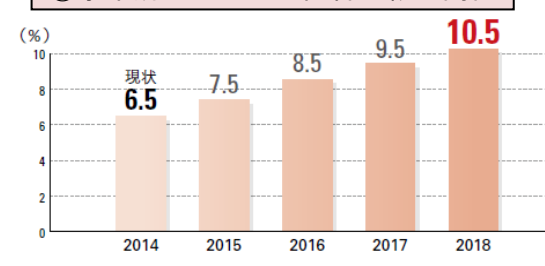
- ① 経営戦略としての女性の活躍のために
 ・女性管理職の割合：6.5%→10.5%
- ② M字カーブの解消のために
 ・25～44歳の女性の就業率：66.8%→69.6%
- ③ 女性の負担軽減のために
 ・男性の育児休業取得率：3.8%→5.0%

*かながわブランドデザイン「プロジェクトの数値目標」より

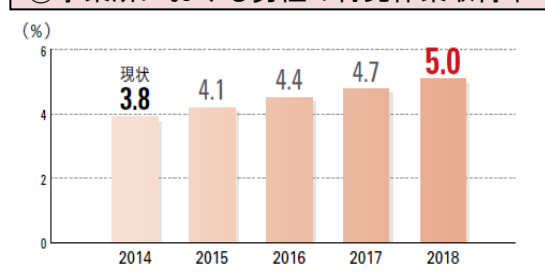
②労働力調査における25～44歳の女性の就業率



①事業所における女性管理職の割合



③事業所における男性の育児休業取得率



【参考】神奈川県庁における女性職員の幹部登用率

女性管理職（課長級以上）の割合：14.7%（知事部局 平成27年6月1日現在）→20%以上
 <今後の本県取組の方向性>

- ・ 「女性職員のためのキャリアビジョン研修」を実施するなど、育児や介護をしながら働く職員を支援する取組を推進
- ・ 管理職への登用のステップとなる、グループリーダークラス、出先の課長クラス等のポストへの積極的な登用を推進

3 本県の取組紹介

*かながわブランドデザイン「プロジェクト」より

【具体的な取組例】

女性の参画促進や男性の意識啓発事業などの展開

- M字カーブを解消し、性別に関係なく個性と能力を発揮できる社会を実現するため、企業10社のトップと知事による「かながわ女性の活躍応援団」を結成
 今後、応援団の取組を社会的ムーブメントとして拡大していくためには、様々な企業が集まる県内3政令市と連携し、積極的に働きかけを行っていくことは大変重要である。

若者がライフキャリアを考える教育の促進と普及啓発

- 個性と適性に合ったライフキャリア（生涯にわたる生き方）を選択できるよう、高校や大学におけるライフキャリア教育を支援
 今後は、取組をさらに充実させるため、県内3政令市と連携し、各市立高校や各市内の高校や大学への普及促進を進めたい。

神奈川なでしこブランド事業による女性の活躍・登用の促進

- 女性が開発に貢献した優れた商品を認定する「神奈川なでしこブランド」事業を平成25年度から実施し、現在60の商品を認定
- 認定された商品を県が広くPRすることで、女性の活躍が新たな需要の掘り起こしや業績の向上に繋がることを理解していただき、企業における女性の活躍を促進
 神奈川なでしこブランドの募集に際しては、県内3政令市をはじめ、県内の市町村にも企業等への周知協力をお願いしている。



【神奈川なでしこブランド認定式】
 知事、残間里江子氏と
 女性開発者のトークショー

4 今後の連携した取組

- ◆ 応援団の取組を社会的ムーブメントとして拡大するため、県内3政令市が開催する企業向けセミナー等への応援団員の派遣等
- ◆ ライフキャリア教育の一層の推進を図るため、県内3政令市が高校や大学で実施する事業に対する講師の派遣等
- ◆ 神奈川なでしこブランドの推進について、引き続き協調した取組を実施